

指標 3

ハイリスクのグループや環境に焦点を当てた予防活動

1 各対策委員会の対象となるグループ・環境

データ分析等により設定した重点テーマの対象となるグループや環境をハイリスクと捉え、対策委員会を設置して、それぞれに対応した対策を実施しています。対策の詳細については、指標4の対策の実施状況欄をご覧ください。

(1) 子どものけが・事故予防対策委員会の対象となるグループと対策

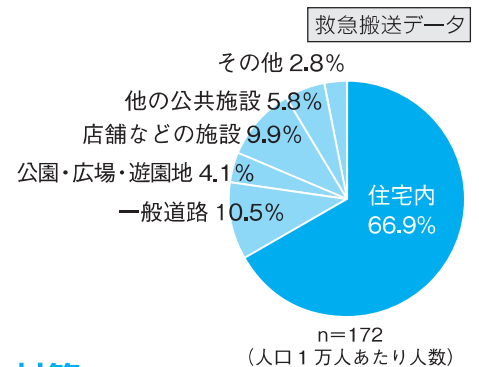
■けが・事故の発生割合が高い乳幼児

けが・事故による救急搬送の割合を年齢別にみると、高齢者に次いで高いのが乳幼児です。【P14 図 2-6 参照】

また、そのけが・事故の大半は住宅内で発生しています。

予防対策	子ども事故予防センターを活用した普及啓発
	区民ひろば（子育てひろば）での予防プログラム
	子ども等への安全教育
	園児同士の衝突事故防止や予防的視点での点検と修繕

図 3-2 子どものけがの発生場所（2020）



(2) 高齢者の安全対策委員会の対象となるグループと対策

■けが・事故の発生割合が高い高齢者

けが・事故による救急搬送の割合を年齢別にみると、高齢者が最も高くなっています。【P14 図 2-6 参照】
また、要因としては、転倒が一番多く、次いで転落・滑落の順となっています。【P17 図 2-11 参照】

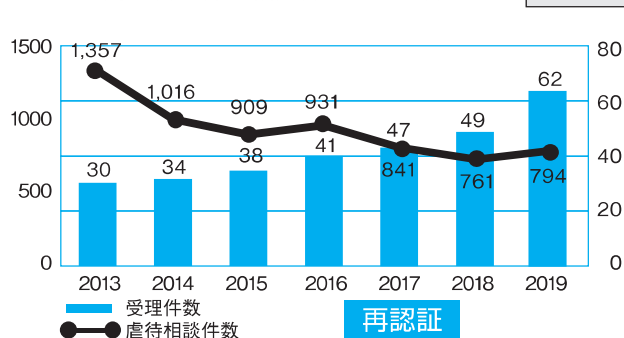
高齢者の不慮の事故による死亡原因は、転倒・転落、溺死・溺水、窒息の3つが主な要因となっています。【P17 図 2-10 参照】

予防対策	転倒予防のための運動プログラム
	健康的な生活習慣の維持
	自宅における転倒リスクの再確認プログラム
	高齢者の住宅改修助成
	本人と周囲への普及啓発
	オーラルフレイル対策

■虐待の対象となる高齢者

高齢者虐待に関する相談件数は、減少傾向にあるものの多く寄せられており、受理件数は増加傾向にあります。

図 3-3 高齢者虐待の相談件数・受理件数



予防対策	関係機関とのネットワーク化
	虐待及び認知症に関する普及啓発
	認知症の介護者支援

(3) 障害者の安全対策委員会の対象となるグループと対策

■けがの経験率の高い障害者

一般区民（18歳以上）のけがをした経験は9.8%ですが、障害者のけがの経験率は区民平均よりも高くなっています。特に、視覚障害者は4倍以上となっています。【P18 図 2-13 参照】

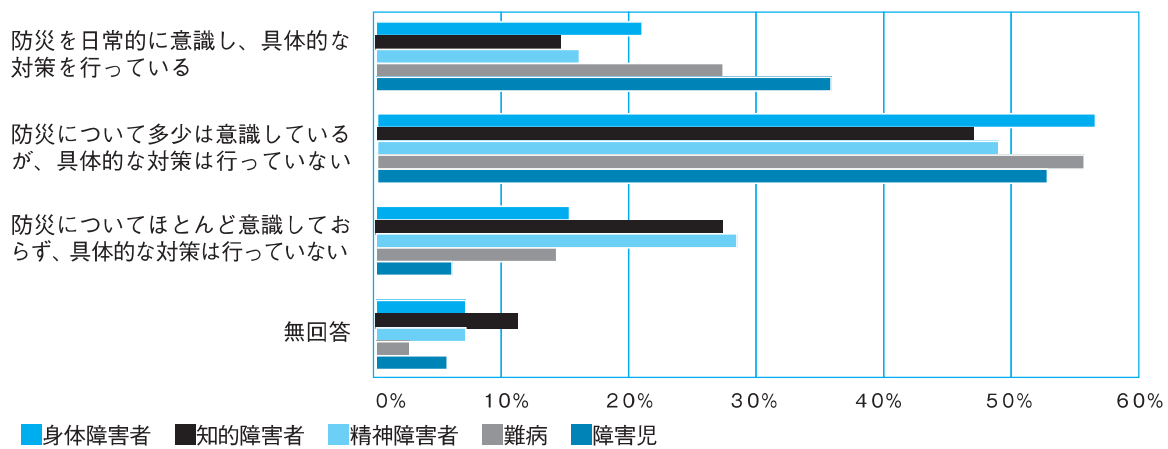
予防対策	音声による道案内
	ヘルプマーク・ヘルプカードの配布
	障害者へのサポート

■災害時に孤立のリスクが発生する障害者

豊島区においても防災について、「具体的な対策は行っていない」と回答した割合は、全障害者において半数を超えており、意識面での課題があります。

予防対策	災害時における障害者への自助、共助
	災害時を想定した訓練への参加

図 3-4 障害者の防災意識・対策の有無（2019年障害者等実態・意向調査）



(4) 自転車利用の安全対策委員会の対象となるグループと対策

■自転車乗車中の事故割合が高い子ども・高齢者

救急搬送データから、年代別交通事故発生状況を見ると、0～14歳の子どもと75歳以上の高齢者で自転車乗車中の事故の割合が高くなっています。

【P19 図 2-15 参照】

予防対策	路上啓発活動や交通安全教室の実施
	子ども及び高齢者用ヘルメットの普及啓発
	標識や路面標示等の新設・改修
	交通安全啓発マップの作成と普及

(5) 繁華街の安全対策委員会の対象となる環境と対策

■加害によるけが犯罪の多い繁華街（池袋駅周辺）

豊島区における加害によるけが及び犯罪の約半数は繁華街の池袋駅周辺で発生しています。

【P20 図 2-17、P21 図 2-19 参照】

予防対策	環境浄化パトロール活動
	池袋駅西口駅前広場対策

(6) 地震災害の防止対策委員会の対象となる環境と対策

■地震災害が拡大するおそれのある高い密度の人口と建物棟数

豊島区は人口密度が最も高い都市であり、1kmあたり21,779人(2022年1月1日現在)となっています。また、建物棟数の密度は40.4棟/haで、23区の中で中野区に次いで高い状況であり、大地震による同時多発的な火災に対して被害の拡大が懸念されます。【P24 図 2-28 参照】

予防対策	住民参加の防災まちづくり
	家具転倒防止等防災知識の普及啓発
	地域防災訓練の実施
	合同防災訓練の実施
	高齢者等の安否確認・避難支援体制の確立
	災害時行動ルールの普及・啓発
	帰宅困難者対策の連携強化

(7) 児童虐待の防止対策委員会の対象となるグループと対策

■虐待の対象となる子ども

豊島区の児童虐待の相談発生率は、増加傾向にあり、常に23区平均より高くなっています。【P21 図 2-20 参照】

予防対策	親の子育て力向上支援【ノーバディス・パーフェクト】
	親の子育て力向上支援【ペアレント・トレーニング】
	区民ひろばでの親の子育て力向上支援
	子ども家庭支援センターにおける相談
	こんにちは赤ちゃん事業
	虐待防止ネットワークによる見守り
	関係機関や区民に対する講演会

(8) ドメスティック・バイオレンスの防止対策委員会の対象となるグループと対策

■配偶者等パートナーへの暴力

パートナーから暴力を受けたことのある人は、2割程度でありDVの相談件数は増加傾向にあります。【P22 図 2-21、2-22 参照】

予防対策	DV相談の周知
	DV及びデートDV予防啓発
	職務関係者の理解促進

(9) 自殺・うつ病の予防対策委員会の対象となるグループと対策

■自殺による死亡者が多い若年層と中年層、自殺未遂者が多い若年層

自殺による死亡者は若年層と中年層が多くなっています。一方、自殺未遂者は若年層の特に女性に多い傾向があります。【P13 図 2-4、P23 図 2-26 参照】

予防対策	相談窓口の周知・連携
	ゲートキーパーの養成
	うつ病等の受診支援（未治療・治療中断者）
	若者のこころの健康づくり
	自殺未遂者支援

2 その他のハイリスクグループ・環境

対策委員会の対象以外の次のグループをハイリスクと捉え、対策を講じています。

(1) 低所得者・路上生活者とその対策

■けがの重度化を招くおそれのある低所得者

低所得者は、日々の生活に追われ、医療にかかることを敬遠する傾向があり、けがの重度化を招くおそれがあります。

■事件・事故に巻き込まれる可能性が高い路上生活者

路上生活者は屋外で無防備な状態で生活しているため、事件・事故に巻き込まれる可能性が高くなります。

図 3-5 生活保護世帯・人員・保護率の推移
(豊島の社会福祉)

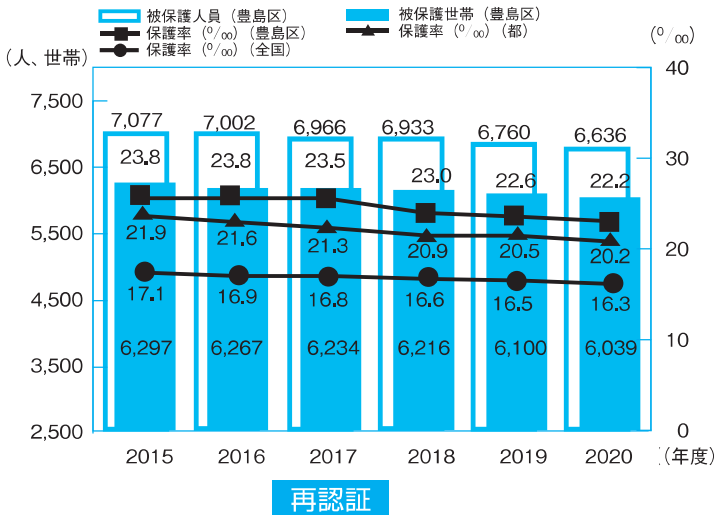
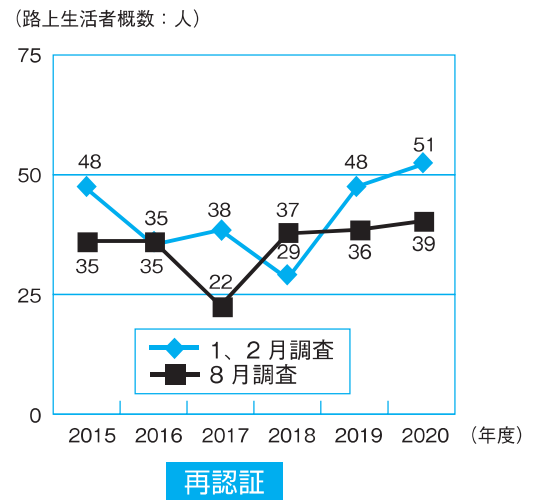


図 3-6 区内路上生活者の推移
(東京都路上生活者概数調査)



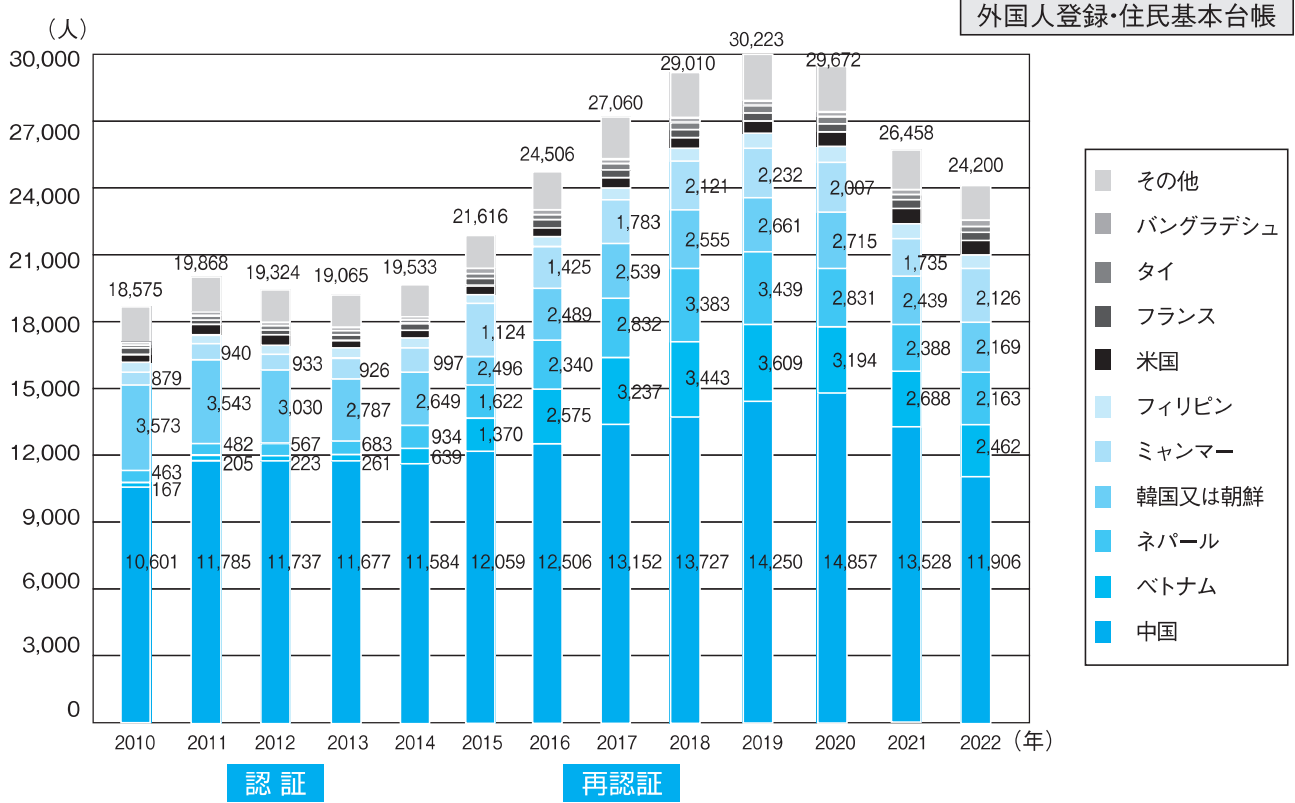
予防対策	概要	実施主体・関係者
生活保護	衣食、その他日常生活の需要を満たすための生活扶助、病気やけがの治療のため医療を必要とするときに行われる医療扶助、住居費用やその維持に必要なものを給付する住宅扶助などを行い、生活に困窮している者に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立の助長を図る。	豊島区
被保護者就労支援事業	稼働能力を有する生活保護受給者に対し、本人の同意を得て、就労支援員が継続的な個別面接や指導を行い、就労を支援する。また、就労意欲が低い者には、就労体験やボランティア実践の場を提供して意欲を喚起する。	ハローワーク、豊島区
被保護者あんしん支援事業	高齢者世帯を訪問し、きめ細かに生活を見守ることにより、住み慣れた住まいで安心した生活が送れるよう支援する。	豊島区
路上生活者対策 (自立支援システム)	ホームレスが生活している場所を巡回して、路上生活者対策の事業紹介やあっせんを行う巡回相談事業、宿所・食事の提供などを行う緊急一時保護事業、就労相談・指導などを行う自立支援事業からなり、自立した地域生活が営めるよう支援する。	医療機関、都福祉保健局、豊島区

(2) 外国籍住民とその対策

■情報格差のある外国籍区民

日本語が理解できないことにより、平常時には医療情報、災害時には避難誘導情報などが十分に得られないおそれがある。

図 1-10 外国人登録者数の推移（各年 1 月 1 日現在）【再掲・一部抜粋】



※2012年以前は外国人登録者数を、住民基本台帳法の改正以降は、住民基本台帳による外国人住民数を用いている。

予防対策	概要	実施主体・関係者
外国語版パンフレットの作成、配布	外国人も加入が義務付けられる国民健康保険への加入手続きや医療助成案内などを内容とする小冊子「国保のしおり」の外国語版（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語）、地震発生時の対応方法が記載されたパンフレットなどの外国語版（英語、中国語、韓国語）を配布し、情報を提供する。	豊島区
多言語での行政情報動画配信	来日間もない留学生等を対象に、健康保険・医療・防災など 10 テーマで作成した動画を日本語、英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語で配信する。	豊島区
外国語ホームページ開設	区のホームページに「外国人のための生活インフォメーション」を開設し、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語で表示して、医療関係情報や防災情報を含む区からの生活情報等を提供する。	豊島区
外国語ボランティア	ボランティアとして登録した外国語が堪能な区民を、外国語通訳及び翻訳が必要とする事業等に派遣して、外国人の言葉の壁を解消し、地域との交流や区政情報などの提供を図る。	ボランティア、豊島区